

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和4年3月

1. 対象事業	川崎市合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	川崎市
3. 計画期間	平成31年度～令和5年度（第4期）
4. 計画期間対象事業の進捗状況	<p>&lt;計画目標の達成状況&gt;</p> <p>(1) 汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大師河原貯留管の整備（H30年度未完了） φ5,000mm L=2,060m V=35,600m<sup>3</sup></li> <li>・ 六郷遮集幹線の整備（施工中） φ500mm～2,400mm L=4,430m</li> </ul> <p>(2) 夾雑物の削減 前計画期間中までに対策完了済</p>
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>① 汚濁負荷量の削減（令和3年度）</p> <p>BOD放流負荷量：入江崎処理区 964.9t/年（「当面の改善目標」987.8t/年） 加瀬処理区 441.9t/年（「当面の改善目標」468.7t/年）</p> <p>② 公衆衛生上の安全確保（令和3年度）</p> <p>未処理放流回数：入江崎処理区 306回（「当面の改善目標」277回） 加瀬処理区 203回（「当面の改善目標」218回）</p> <p>③ 夾雑物の削減（令和3年度）</p> <p>夾雑物の削減対策吐口数：入江崎処理区 9箇所（「当面の改善目標」9箇所） 加瀬処理区 10箇所（「当面の改善目標」10箇所）</p> <p>・ 改善計画をもとに事業を実施し、目標年度（令和5年度）までに改善目標を達成する見込み。</p>

6. 対象事業の整備効果の発現状況				
・整備効果				
	処理区	目標	対策前 (昭和 52 年度)	対策後 (令和 3 年度)
汚濁負荷量 (BOD:t)	入江崎	987.8	1028.5	964.9
	加瀬	468.7	527.3	441.9
未処理放流水の放流回数 (回)	入江崎	277	448	306
	加瀬	218	369	203
夾雑物の削減対策吐口数 (箇所)	入江崎	9	9	9
	加瀬	10	5	10
<p>・下水道法施工令第6条第2項等に基づく吐き口からの放流水質の調査結果</p> <p>入江崎処理区 BOD 値 15mg/L (令和 3 年 10 月 25 日)</p> <p>加瀬処理区 BOD 値 28mg/L (令和 3 年 4 月 14 日)</p>				
7. 事業の効率化に関する取り組み				
<p>・改善手法の検討</p> <p>本計画に基づき、遮集量の増加に伴い六郷ポンプ場から大師河原ポンプ場を結ぶ六郷遮集幹線(延長 4,430m)の整備を推進しているが、全区間を新設するのではなく、一部区間については既設幹線を有効活用することにより、効率的な整備が図られている。</p>				
8. 今後の方針				
<p>・公衆衛生上の安全確保については、引き続き改善計画をもとに適切な事業を推進する。</p>				